

## 事務事業チェックシート

事務事業名称		市民交流フロア管理運営			事務事業コード	601030201		事業区分	実施計画	
事業期間		平成17年度～継続			担当所属名	総合交流センター				
事業の性質分類	<input type="radio"/>	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	<input type="radio"/>	④施設等の維持管理的な事務事業	根拠法令	無				
	<input type="radio"/>	②整備関係事務事業	<input type="radio"/>	⑤行政の内部管理事務事業	根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例				
	<input type="radio"/>	③施設等の建設事務事業	<input type="radio"/>	⑥経常的な事務事業	必須業務の有無	無	内容			
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	市民が出会い、ふれあい、交流できる場が求められている。また、多様な行政サービスや行政情報の提供が求められている。「出会い、ふれあい、交流の場」として多くの市民の交流が図れるよう市民交流フロアの充実に努めるとともに、中央生涯学習センターの自主事業の取り組みの増加を図ることにより、利用者の促進を図った。				これまでの成果	成果の内容	市民交流フロア管理運営事業であるセンター利用状況を示すものとして、各種行政サービスの利用件数の増加が成果の一つに挙げられる。			
事業目的	市民の相互交流が盛んになることにより、市民の社会的、文化的な創造を促進するため。					指標名	市民交流フロア管理運営事業			
	事業概要／手法、 内容(施設概要／ 規模、階数、 建築年度など)	平成17年度より指定管理者制度を採用しており、平成21年度に大阪ガスビジネススクリエイト(株)と3年間の指定管理契約を結んでおり、平成22年度も同様の手法(事業)を継続していく。(施設概要:7階・平成17年4月竣工)(バンビオ1番館管理組合:総合交流センター)				指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)		総合計画6-1-3					対象者名	市民(市民交流フロア来館者)		
【収入】	金額(円)／年度				現状の分析 (事業の必要性、市の関与の妥当性、手法の適正など)	委託の現状	市民交流フロアにおける児童室は、子育て支援の一助になっている。また、行政情報及びインターネットサービス等は、時代や市民ニーズに即応したものになっている。平成17年度のバンビオ1番館開設当初から指定管理者制度を採用し、市民の交流促進という観点からも市の関与が必要である。市民交流フロアやバンビオ広場公園の利用頻度をさらに高めるため、市民が魅力を感じるイベントや事業を開催し、また、市民啓発を積極的に進めていかなければならない。			
	使用料・手数料	0					民間委託	市民交流フロアの運営を、民間企業(中央生涯学習センター指定管理受託者)により行っている。		
【支出】	金額(円)／年度				委託の現状	受け皿の存在	市民交流フロアの運営を、民間企業(中央生涯学習センター指定管理受託者)により行っている。			
	国支出金(補助率)	0					市における類似事業(所属課)	イベント実施会社、人材派遣会社など。		
	府支出金(補助率)	0			市における類似事業(所属課)	中央生涯学習センター(生涯学習課)、地域福祉センターきりしま苑(社会福祉課)、西山公園体育館・スポーツセンター・長岡公園球技広場(テニスコート)(青少年・スポーツ課)・多世代交流ふれあいセンター(多世代交流ふれあいセンター)				
	その他( )	0				近隣市町の状況	京都市、向日市などが指定管理者制度を採用している。			
	合計	0			国、府の補助金の動向		無			
	人件費	正規職員	従事人数(人)	人件費		近隣市町の状況	京都市、向日市などが指定管理者制度を採用している。			
科目	再任用・嘱託職員	従事人数(人)	人件費	国、府の補助金の動向	無					
	1	2	1		13	735	H20決算	H21決算	H22予算	
【収支】					廃止したときの影響	施設利用者が増加傾向にある中での廃止は、市民サービス低下につながる。				
一般財源充当額						21,259,000				
対象者あたり一般財源充当額					269					
主な事業費の詳細 (H22見込)	市民交流フロア(1F)指定管理料 20,286千円 (指定管理料の主な内訳) 負担金 5,392,000円 運営費(人件費)9,551,000円 など				今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持			
	【収支】					その他特記事項 (留意事項など)	平成17年度からの5年間指定管理者制度を採用しており、平成22年度についてもこれまで同様の事業を展開していく。また、総合交流センター各施設の重要性が高まる中、市としても積極的に取り組む必要がある。			
【収支】					無					

# 事務事業チェックシート

事務事業名称		総合交流センター管理総合調整			事務事業コード	601030202		事業区分	一般			
事業期間		平成17年度～継続			担当所属名	総合交流センター						
事業の性質分類	<input type="radio"/>	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	<input type="radio"/>	④施設等の維持管理的な事務事業	根拠法令	無						
		②整備関係事務事業		⑤行政の内部管理事務事業	根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例						
		③施設等の建設事務事業		⑥経常的な事務事業	必須業務の有無	無	内容:					
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	総合交流センターは、幅広い生涯学習活動の場として、創造性あふれる多様な文化活動、福祉活動などを展開する施設である。市民が出会い、ふれあい、交流しあい、また、市民自ら考え、体験できる場としての複合施設である。多数の市民の交流が図れるような賑わい創出事業を支援し、市民の社会的、文化的な創造を高めていく。				これまでの成果	成果の内容	バンビオ広場公園を中心として実施している市民参加型の事業を支援してきた。					
	市民の交流を図るとともに、総合交流センターや市民交流フロアの利用者の増加、ひいては市民の社会的、文化的創造活動を高めることを目的とする。なお、賑わい創出事業の実施により広場公園等の利用の促進を図るとともに、より一層の集客を図る。					指標名	バンビオ広場公園でのイベント等の回数					
事業目的	平成22年度も、バンビオを中心とした市民交流等の場としての促進を図るとともに、バンビオ広場公園で実施している「ふれあいタ市」「青空個展市」「ものづくり市」「花子百貨店」「野外コンサート」「七夕祭り」「サマーナイトカフェ」「イルミネーション装飾」事業を積極的に支援していくとともに、市の東の拠点としての機能をより一層充実していく。				対象者の状況	指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込		
	市民の交流を図るとともに、より一層の集客を図る。					対象者名	回	109	95	100		
事業概要／手法、内容(施設概要／規模、階数、建築年度など)	平成22年度も、バンビオを中心とした市民交流等の場としての促進を図るとともに、バンビオ広場公園で実施している「ふれあいタ市」「青空個展市」「ものづくり市」「花子百貨店」「野外コンサート」「七夕祭り」「サマーナイトカフェ」「イルミネーション装飾」事業を積極的に支援していくとともに、市の東の拠点としての機能をより一層充実していく。				対象者の推移	対象者の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込		
	市の東の拠点としての機能をより一層充実していく。					将来の動向	人	79,113	79,449	79,742		
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)	総合計画6-1-3				現状の分析 (事業の必要性、市の関与の妥当性、手法の適正など)	多くの市民が出会い、考え、ふれあい、体験できる交流の場のニーズは大きく、市民の社会的、文化的な創造を高めていく場の提供の必要性は高まっている。今までの活動で一定市民間での知名度は高まって来ており、利用者も増加傾向であるが、市民への定着が図れても、常にイベントを仕掛け、多くの人を集めるような工夫をしていかないと、賑わいは持続しない。そのためにも継続した魅力ある事業支援の実施が必要である。						
【収入】	金額(円)／年度		H20決算	H21決算		H22予算	民間委託	委託の現状	無			
	使用料・手数料		6,098,617	6,111,123	6,111,000	受け皿の存在		イベント実施会社・ビル管理実施会社・人材派遣会社など。				
	国支出金(補助率)		0	0	0	市における類似事業(所属課)		多世代交流ふれあいセンター(多世代交流ふれあいセンター)				
	府支出金(補助率)		0	0	0			近隣市町の状況	無			
	その他		4,123	4,194	55,000				国、府の補助金の動向			
合計		6,102,740	6,115,317	6,166,000	無							
【支出】			H20実績	H21実績	H22見込	廃止したときの影響	バンビオの賑わい事業の縮小・廃止は、本市の東の拠点及び東の玄関口としての機能を低下させ賑わい創出の低下につながる。					
	人件費	正規職員	従事人数(人)	1.9	1.9		0.9	今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持		
		再任用・嘱託職員	従事人数(人)	3.0	3.0		3.0		当分の間、賑わいを持続し、市民への定着をより強固なものとするため継続していきたい。			
	科目		1	2	1		15	735	その他特記事項 (留意事項など)	平成22年度は再任用・嘱託職員人件費にアルバイト賃金(1人1,550,000円)を含ませており、事業費に含まれていない。		
	事業費(予算・決算)		8,112,386	8,088,754	8,113,000							
合計		31,862,386	31,838,754	22,113,000								
【収支】		H20決算	H21決算	H22予算								
一般財源充当額		25,759,646	25,723,437	15,947,000								
対象者あたり一般財源充当額		326	324	200								
主な事業費の詳細 (H22見込)	総合交流センター管理総合調整事業 8,113,000円 (主な内訳) 1番館修繕積立負担金 5,443,000円・バンビオ賑わい創出事業補助金 1,000,000円・市営駐車場等の使用料等 1,249,000円 など											